

# 世界をリードする自動車部品の最新加工技術

開催期日:平成17年 2月 1日(火)

申込締切:平成17年 1月 25日(火)

主催:(社)精密工学会

企画:事業部企画第2グループ

協賛:大田区産業振興協会/RP 産業協会/SME 東京支部/型技術協会/計測自動制御学会/研削砥石工業会/研磨布紙協会/自動車技術会/全国軽自動車協会連合会/全日本プラスチック製品工業連合会/素形材センター/ダイヤモンド工業協会/超硬工具協会/電気加工学会/砥粒加工学会/日本オプトメカトロニクス協会/日本金型工業会/日本機械学会/日本木型工業会/日本規格協会/日本金属学会/日本金属プレス工業協会/日本光学測定機工業会/日本工具工業会/日本工作機器工業会/日本小型工作機械工業会/日本材料学会/日本自動車会議所/日本自動車研究所/日本自動車工業会/日本自動車部品協会/日本自動車部品工業会/日本セラミックス協会/日本塑性加工学会/日本鍛造協会/日本ダイカスト協会/日本鉄鋼協会/日本トライボロジー学会/日本表面科学会/発明協会東京支部/表面技術協会/プラスチック成形加工学会/レーザ加工学会

近年の自動車産業には、環境、安全、情報化など時代を先取りした新しいニーズへの対応とともに世界中の国々への販売、生産の拡大というグローバル化への対応が求められています。我が国の自動車産業の強みは、このような新商品開発とグローバル化を支える「新しいモノづくり技術」であると言えます。

本講習会では、自動車部品の最新加工技術の現状は？将来展望は？という問いに答えるべく、自動車メーカーからは将来展望を含めた最新の加工技術を、部品メーカーからは精密小物部品の超精密加工技術の一端を、さらには工具メーカーおよび表面処理メーカーからは次世代のキー技術と成り得る精密加工技術や表面処理技術を紹介していただきます。本講習会で、世界をリードし続ける自動車部品の最新加工技術の重要ポイントを理解していただけるものと考えます。自動車関連産業ばかりでなく、製造業全般に関わる有益な情報を皆様にご提供できるものと確信しております。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時:平成17年 2月 1日(火)10時00分～17時20分

会 場:工学院大学11階第5会議室 (〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2)

\* JR(山手線・中央線・埼京線)、京王線、小田急線、地下鉄(丸の内線・都営新宿線)「新宿駅」下車西口より 徒歩 5分

\* 大江戸線 都庁前駅 直結

☆ 会場 URL: <http://www.kogakuin.ac.jp/map/shinjuku/index.html>

司 会:鎌村 有宏(日本精工株式会社)、中村 清一郎(三菱マテリアル株式会社)、武沢 英樹(工学院大学)

次 第

時間	題目	内容	講師
10:00～11:00	総論:自動車部品の最新加工技術 将来展望	最近実用化された部品加工技術の現状、および今後応用技術開発が期待される新しい加工技術について紹介するとともに、自動車の新商品ニーズおよび生産ニーズから、自動車部品加工の将来展望を述べる。	日産自動車株式会社 総合研究所 第一技術研究所 太田 稔
11:00～12:00	DLC, Me-DLC コーティングの自動車部品への適用	自動車部品、精密機械部品に適用されている DLC, Me-DLC の膜構造、特性、および応用例としてその耐荷重性の高さによる軽量・コンパクト化、その低摩擦係数を利用したフリクション低減・燃費改善の二つのアプローチについて紹介する。	日本バルザース株式会社 プレジジョンコンポーネント 金森 高司
12:00～13:10	昼 食		
13:10～14:10	自動車パワートレイン部品の高能率加工技術	エンジンの5C部品(カム、クランク、ブロック、ヘッド、コンロッド)やCVT部品などの高能率加工について最新の設備およびライン、さらにそれを実現する加工技術について述べる。	豊田工機株式会社 グライディングマシン標準機部 向井 良平
14:10～15:10	自動車精密部品の高能率加工	新製品開発から生産までのトータルな高能率化は、品質、コスト競争力を維持する上で必要不可欠である。今回は機械・電気加工部品における当社のもの作り活動や技術開発での高能率化の取り組み事例について紹介する。	株式会社デンソー 生産技術開発部 森田 浩充
15:10～15:20	休 憩		
15:20～16:20	自動車用アルミ合金部品の超精密加工	ブロックやケース、ピストン、バルブボディー等に使用されるアルミ合金の精密加工、鏡面加工の最新技術と適用事例を紹介する。	株式会社アライドダイヤモンド 精密ダイヤモンド工具部 切削技術グループ 小島 一志
16:20～17:20	ハードカットングによる自動車部品の精密仕上げ加工	ミッション部品や CVJ ボール溝などに使用される焼入鋼の精密切削加工の適用事例を中心に、最新のドライハードカットング技術を紹介する。	住友電工ハードメタル株式会社 開発部 ダイヤ開発グループ 深谷 朋弘

定 員:80名(先着順で定員になり次第締切ります)

参 加 費:会員(賛助会員および協賛団体会員を含む)20,000 円、非会員 30,000 円【会員・非会員ともテキスト代含む】

学生会員 無料(ただし、資料ご入用の場合は、4,000 円をご負担ください)

学生非会員 6,000 円(テキスト代含む)

\*参加費・テキスト代とも消費税を含みます。

資 料:資料のみ、または聴講者で 2 冊以上ご希望の場合、1冊 4,000 円

申込方法:申込書に必要事項をご記入の上、郵送、FAX または学会ホームページにて受け付けます。

申込締切:平成 17 年 1 月 25 日(火)

申込先:(社)精密工学会 (〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-5-9 九段誠和ビル 2F、電話 03-5226-5191、Fax 03-5226-5192)

(学会ホームページ <http://www.jspe.or.jp/service/seminar/seminar.html> からでも申込出来ます。)